

- 問1 5世紀、ヤマト政権の王たちは「倭の五王」として中国の南朝に相次いで使者を送りました。当時の王たちが、朝鮮半島での軍事的な立場を有利にしたり、国内の支配体制を安定させたりするために、中国の皇帝から得ようとしたものは何ですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 自らの地位や権威を証明する称号 2. 律令制度を導入するための法典や教本 3. 仏教を正式な国教とするための許可 4. 遣唐使や遣唐使を派遣するための正式な国交
- 問2 古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陆との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭りの道具として使われた青銅器の銅鐸 2. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶 3. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪 4. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡
- 問3 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 2. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザイン鏡を輸入した状況 4. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
- 問4 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。 2. 死者を吊うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。 3. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。 4. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。
- 問5 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから 2. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから 3. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから 4. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから
- 問6 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 鳥根県公立入試 類似)
1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器
- 問7 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 2. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 3. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。 4. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。
- 問8 5世紀後半のものとされる埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣や、熊本県江田船山古墳出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」という名が刻まれています。この事実から推測される当時のヤマト政権の様子について、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。 2. 大王は奈良盆地周辺のみを治める、限定的な勢力に留まっていた。 3. 大王の地位は固定されておらず、各地の豪族が交代でその任に就いていた。 4. 各地の豪族が大王の許可なく、独自に大陸と外交を行っていた。
- 問9 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと 2. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと 3. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと 4. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと
- 問10 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 弥生時代に中国大陆から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる 2. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された 3. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である 4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた
- 問11 古墳が作られていた時代に、中国大陆や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。 2. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。 3. 九州北部の防備にあたりとともに、防人として東国から徴集された。 4. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
- 問12 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「親魏倭王」と刻まれた金印 2. 「漢委奴国王」と刻まれた金印 3. 勘合貿易で用いられた割符 4. 「日出処天子」と記された国書
- 問13 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪 2. 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像 3. 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片 4. 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸